

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M343A103		中国語Ⅰ (ChineseⅠ)					国際力強化科目群		対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態				
選択	1	1	医学部先進医療科学科	前期	月1	日本語				単独				
担当教員	氏名 鈴木 晶													
	E-mail chenjing@nm.beppu-u.ac.jp 内線													
授業の概要	国際社会に対応するためにはコミュニケーションの手段としての語学が必要になってくる。この授業は中国語入門の授業であり、初めて中国語を学習する学生を対象とする。「中国語Ⅰ」では、中国語入門学習には難関となる「声調」をマスターし、正しい中国語の発音ができることを目指す。発音の学習以外、簡単な語彙や文法表現を身につける。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 中国語の発音ができる								○						
目標2 中国語の「四声」ができる										○				
目標3 挨拶言葉がしゃべることができる										○				
目標4 自己紹介ができる										○				
目標5 基本文法ができる												○		
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								4	1	4	1			
授業の内容														
1 発音 母音														
2 発音 子音														
3 発音 鼻音														
4 発音 声調														
5 「我去中国。」主語＋動詞＋目的語(私は中国へ行きます。)														
6 「我是日本人。」主語＋“是”＋目的語(私は日本人です。)														
7 「他很忙。」主語＋形容詞(彼は忙しい)														
8 主語＋動詞＋人＋物(陳先生が私たちに中国語を教えます。)														
9 「我想去美国。」(私はアメリカへ行きたいです。)														
10 「在」の使い方(レストランはどこにありますか。)														
11 数の数え方(今日は何曜日ですか。)														
12 実現・完了「動詞＋“了”」(私はご飯を食べました。)														
13 経験を表す“過”(私は北京へ行ったことがあります。)														
14 助動詞“会”(私は中国語がしゃべれます。)														
15 助動詞“能”(私は運転ができます。)														
ラーニング	A:知識の定着・確認		○		・発音のチェック発表してもらう。			工夫その他の						
	B:意見の表現・交換		○		・作文の口頭発表をしてもらう。									
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修と想定時間	準備学修		配布資料等の情報を必要に応じて予習する(15時間)											
	事後学修		小テストや配布資料を用いて復習する(15時間)											
	想定時間合計		30											
教科書	鈴木晶『やさしい中国語 基本文型と単語』、関東図書、2021年、1980円、ISBN978-4-904006-22-1													
参考書	園田茂人編『日中関係史 1972－2012 IV民間』、東京大学出版会、2015年、ISBN978-4-13-023067-4													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	発表		10%	○									
	小テスト		20%		○	○							
	期末テスト		60%					○					
	授業の取り組みの姿勢		10%				○						
注意事項	特になし。												
備考													
リンク													
	URL												